

株主メモ

●事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
●定時株主総会	毎年6月
●基準日	定時株主総会・期末配当：毎年3月31日 中間配当：毎年9月30日（但し、中間配当を行う場合）
●株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
●郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031（フリーダイヤル） 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び 全国各支店で行っております。

株式に関するお手続きについて

お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none"> ●单元未済株式の買取請求 ●届出住所・氏名などのご変更 ●配当金の受取方法のご指定 	口座を開設されている証券会社
<ul style="list-style-type: none"> ●郵便物の発送と返戻に関するご照会 ●支払期間経過後の配当金に関するご照会 ●株式事務に関する一般的なお問い合わせ 	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

第33期 中間報告書

2018年4月1日から2018年9月30日まで

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、ありがたく厚くお礼申し上げます。

さて、第33期第2四半期（2018年4月1日から2018年9月30日まで）の報告書をお届けいたしますので、よろしくご高覧ください。

当社グループは、国が推し進める地方創生と働き方改革の2つの政策によって起こりつつある変化を好機と捉え、女性就業支援やU I ターン転職支援への一段の注力により、中四国の地域社会での良質な雇用機会の創出を通じた収益の拡大に取り組んでおります。

女性就業支援の面では、株式会社ママスクエアとのフランチャイズ・チェーン加盟契約に基づき、当社の本社事業所内に「クリエ×ママスクエア高松」を年内にオープンいたします。ママが子どものそばで働ける保育園でも在宅でもないワークスペース「ママスクエア」を大都市圏中心に展開している同社との協力の下、中四国においても、子どものそばで働ける新しいワーキングスタイルを育児期の女性に広めていきたいと考えております。また、時短派遣、事務系以外の派遣職種の拡大などの取り組みを通して、引き続き、女性のキャリア継続や仕事と家庭の両立に資する雇用機会の創出に努めてまいります。

U I ターン転職支援の面では、東京と大阪の「中国・四国U I ターンセンター」を主軸に、2大都市圏から中四国への人材還流を促進しております。香川県高松市からの業務委託により「瀬戸・たかまつ移住&キャリアサポートセンター」を東京に開設するなど、

中四国の各自治体からのU I ターン転職支援業務の受託件数も増加しつつあります。

これらの施策に加えて、去る10月には、協力関係にある穴吹カレッジグループが運営する専門学校を卒業した留学生を対象とした就職支援事業の可能性を探るべく、ベトナムのホーチミン市に当社グループ初の海外事務所を設置いたしました。中四国の地域社会との共存共栄を常に念頭に置きながら、これを機にアジアでの様々な新規事業の開拓に努めてまいります。

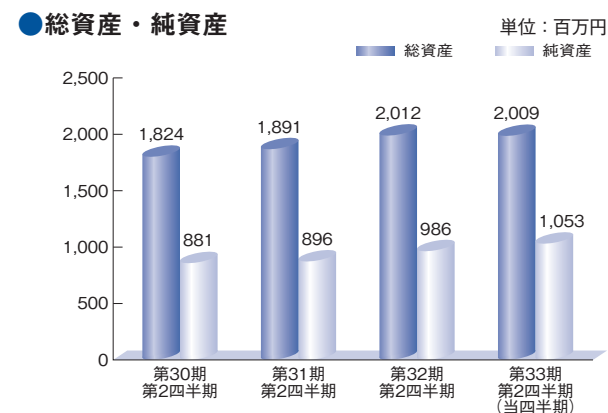
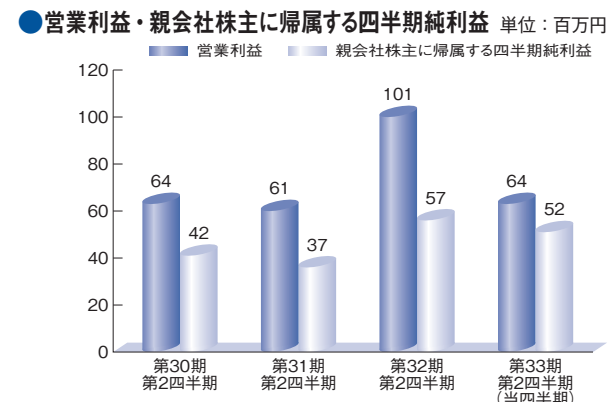
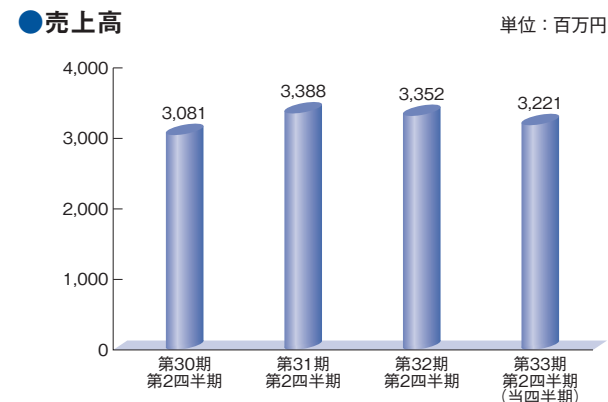
株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2018年12月



代表取締役社長 上口裕司

経営指標の推移（連結）



事業の状況

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、個人消費が持ち直し、生産や設備投資が増加するなど、景気は緩やかな回復基調を続けました。人材サービス業界に関しては、人手不足感の高まりを背景に完全失業率が約25年ぶりの低水準、有効求人倍率が約44年ぶりの高水準を記録するなど、雇用情勢が改善を続けております。また、本年6月には労働時間規制の強化などを柱とした働き方改革関連法が成立いたしました。

このような経営環境の中にあつて、当社グループは、国が推し進める地方創生と働き方改革の2つの政策によって起こりつつある変化を好機と捉え、女性就業支援やU I ターン転職支援への一段の注力により、中四国の地域社会での良質な雇用機会の創出を通じた収益の拡大に取り組んでおります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、物流関連アウトソーシング事業の不振などから、売上高3,221,669千円（前年同四半期比96.1%）、営業利益64,129千円（同63.4%）、経常利益94,413千円（同91.0%）、親会社株主に帰属する四半期純利益52,374千円（同91.1%）となりました。

各事業部門の業績は、次のとおりであります。

人材派遣

当事業の売上高は1,809,605千円（前年同四半期比95.7%）となりました。

当社グループの主力である当事業については、これまでより幅広い職種や雇用形態を対象とした女性就業支援への取組みを強化するなど、顧客の幅の広がりを持った収益の拡大をめざしたものの、本年3月に旧大阪支店に係る人材派遣事業を事業譲渡した影響のほか、労働契約法と労働者派遣法の改正による2018年問題への対応として派遣労働者の直接雇用が進んだことの影響もあり、前年同四半期の実績を下回りました。なお、前期に始動したプロジェクト「ママ友ワーキングラボ」において「親子でおしごと相談会」を各地で開催するなど、子育て期にある女性の仕事復帰を支援する取組みに一段と注力しております。

アウトソーシング

当事業の売上高は1,116,767千円（前年同四半期比94.6%）となりました。

物流関連アウトソーシング事業を営む株式会社クリエ・ロジプラスにおいて主たる取引先からの繁忙期の受注が伸び悩んだことなどから、前年同四半期の実績を下回りました。なお、株式会社クリエ・ロジプラスは、同社従業員の福利厚生の実施を主目的として、本年8月に企業主導型保育園を香川県さぬき市に開園しております。一方、当社では、株式会社ママスクエアとの間に締結したフランチャイズ・チェーン加盟契約に基づいて、未就学児の母親を対象とした見守りスペース付オフィス「クリエ×ママスクエア高松」を香川県高松市の本社事業所内に設置し、本年12月から事務系業務の請負を開始いたします。

人材紹介

当事業の売上高は91,392千円（前年同四半期比102.2%）となりました。

収益性の高い当事業については、東京と大阪の「中国・四国UIターンセンター」を主軸に、自治体や地域の各種団体とも協力しつつ、2大都市圏から中四国への人材還流に繋がるUIターン転職支援への取組みを一段と強化しております。また、地域在住の幅広い層の求職者を対象とした中四国域内での転職支援にも注力したことにより、前年同四半期の実績を上回りました。なお、当社は、協力関係にある穴吹カレッジグループが運営する専門学校を卒業した留学生を対象とした就職支援事業の可能性を探るため、本年10月に当社グループ初となる海外事務所をベトナムのホーチミン市に開設しております。

採用支援

当事業の売上高は180,435千円（前年同四半期比106.0%）となりました。

株式会社採用工房を中核企業として首都圏や近畿圏で営んでいる当事業については、企業の求人・採用に係る代行業務が堅調に推移したことから、前年同四半期の実績を上回りました。

その他

上記の各事業部門に含まれない事業の売上高は、合計で23,468千円（前年同四半期比107.9%）となりました。

経理の状況

● 連結貸借対照表

科目	前期 (2018年3月31日現在)	当第2四半期 (2018年9月30日現在)
【資産の部】		
流動資産	1,768,778	1,755,022
現金及び預金	1,095,700	1,120,820
売掛金	653,358	595,422
仕掛品	—	6,458
原材料及び貯蔵品	1,198	710
前払費用	15,314	23,829
その他	4,219	8,662
貸倒引当金	△ 1,011	△ 880
固定資産	246,059	254,892
(有形固定資産)	(40,643)	(61,766)
建物	18,601	52,122
工具、器具及び備品	8,042	9,644
建設仮勘定	14,000	—
(無形固定資産)	(49,708)	(43,108)
のれん	17,568	13,725
ソフトウェア	27,615	24,857
電話加入権	4,525	4,525
(投資その他の資産)	(155,707)	(150,017)
投資有価証券	2,485	2,569
繰延税金資産	75,986	69,060
差入保証金	75,676	76,962
その他	1,559	1,424
資産合計	2,014,838	2,009,915

単位：千円

科目	前期 (2018年3月31日現在)	当第2四半期 (2018年9月30日現在)
【負債の部】		
流動負債	887,963	839,632
短期借入金	16,000	16,000
1年内返済予定の長期借入金	80,843	70,845
未払金	69,730	73,378
未払費用	463,554	432,004
未払消費税等	93,925	92,545
未払法人税等	47,113	32,066
預り金	45,151	46,645
賞与引当金	67,432	70,212
その他	4,213	5,933
固定負債	109,797	117,080
退職給付に係る負債	109,797	117,080
負債合計	997,760	956,713
【純資産の部】		
株主資本	948,859	982,733
資本金	243,400	243,400
資本剰余金	112,320	112,320
利益剰余金	599,818	633,693
自己株式	△ 6,679	△ 6,679
その他の包括利益累計額	685	744
その他有価証券評価差額金	685	744
非支配株主持分	67,532	69,724
純資産合計	1,017,077	1,053,202
負債純資産合計	2,014,838	2,009,915

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

●連結損益計算書（要旨）

単位：千円

科目	前第2四半期 (2017年4月1日から 2017年9月30日まで)	当第2四半期 (2018年4月1日から 2018年9月30日まで)
売上高	3,352,693	3,221,669
売上原価	2,675,849	2,588,660
売上総利益	676,843	633,009
販売費及び一般管理費	575,727	568,879
営業利益	101,116	64,129
営業外収益	3,300	30,798
営業外費用	683	515
経常利益	103,732	94,413
特別損失	11	573
税金等調整前四半期純利益	103,721	93,839
法人税、住民税及び事業税	41,659	26,783
法人税等調整額	△ 3,785	6,899
四半期純利益	65,847	60,156
非支配株主に帰属する 四半期純利益	8,331	7,781
親会社株主に帰属する 四半期純利益	57,516	52,374

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

●連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

単位：千円

科目	前第2四半期 (2017年4月1日から 2017年9月30日まで)	当第2四半期 (2018年4月1日から 2018年9月30日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	190,126	86,545
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 22,074	△ 27,285
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 42,709	△ 34,139
現金及び現金同等物 の増減額 (△は減少)	125,341	25,119
現金及び現金同等物 の期首残高	984,064	1,096,700
現金及び現金同等物 の四半期末残高	1,109,406	1,121,820

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

●ホームページのご案内●

当社ホームページには、事業内容のほか、株主・投資家の皆様向けの最新IR情報を掲載しております。どうぞご利用ください。



<http://www.crie.co.jp/>

会社の状況

●会社概要（2018年9月30日現在）

商号	株式会社クリエアナブキ
本店	香川県高松市磨屋町2番地8
設立年月日	1986年4月11日
資本金	2億4,340万円
従業員数	103名（男性41名、女性62名）
主要な事業内容	人材派遣、アウトソーシング、人材紹介、採用支援、再就職支援、研修・測定サービス、組織人事コンサルティング
連結子会社	株式会社クリエ・ロジプラス 株式会社採用工房

●株式の状況（2018年9月30日現在）

発行可能株式総数	9,000,000株
発行済株式の総数	2,340,000株（自己株式27,473株を含む。）
株主数	602名

大株主（上位10名）

株主名	持株数	持株比率
穴吹興産(株)	1,323,500株	57.2%
藏田徹	228,700株	9.9%
クリエアナブキ従業員持株会	84,500株	3.7%
(株)穴吹ハウジングサービス	65,500株	2.8%
島津実義	56,500株	2.4%
穴吹忠嗣	48,000株	2.1%
深谷泰平	31,000株	1.3%
上口裕司	29,000株	1.3%
山下博	27,000株	1.2%
佐藤正晴	23,000株	1.0%

(注) 1. 当社は、自己株式を27,473株保有しておりますが、上記の大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

●役員（2018年9月30日現在）

代表取締役会長	藏田 徹
代表取締役社長	上口 裕司
取締役	穴吹 忠嗣
取締役	大谷 佳久
常勤監査役	林 隆司
監査役	柳 瀬 治夫
監査役	桑 島 美恵子

(注) 監査役柳瀬治夫及び桑島美恵子は社外監査役であります。

●主要な事業所（2018年9月30日現在）

